

# 竹の台総合新聞 創刊

～地域のつながり求めて～



# 竹の台総合新聞

発行責任者  
竹の台地域情報局  
新聞製作委員会  
代表 絹川 正明  
代表 森川 賢子

(目次)

- 2P 防犯の現状
- 3P 地域の動き
- 4P 地域団体紹介
- 5P ひと・人・ヒト  
トピックス  
何でも相談
- 6P 西神ニュータウン開発の歴史
- 7P 予定と募集
- 8P 読者のページ



**創刊にあたって**

歴史の流れは、非常な速さでその方向を変えようとしています。インターネットの発達に代表されるように、私たちは瞬時にして世界中の情報を手に入れ、日々の暮らしや活動に役立てています。情報の持つ重要性は、今後ますます高まっていくでしょう。

しかし、振り返って、地域の状況を見ると、そこには何の情報もなく、また、正確な情報発信がないために、私たちは生活に最も身近な地域の様子を知らずすべがありません。

地域には防犯、高齢化、子育て、ゴミ・環境問題などさまざまな問題が潜んでいます。

この「竹の台総合新聞」は、こういった地域のさまざまな課題や問題を、整理された情報として発信し、住民の皆様が自ら考え判断する座標軸を提供します。読者の皆様の声に謙虚に耳を傾けながら、信頼される地域新聞として、その使命を果たしていきます。これからも、是非ご支援下さい。

「竹の台総合新聞」編集者募集(詳しくは、7Pをご覧ください)

## 新たな交流施設完成

### 竹の台小にクラブハウス

昨年八月から竹の台小で工事が進んでいました。住民交流施設「竹の台クラブハウス」が完成し、このほどオープンしました。

この施設は、神戸市が推進している「神戸総合型スポーツクラブ育成事業」から八百万円の助成を受けて完成したもので、施設は、教室二教室分を使い、最大で五十人程度の会議が可能。

昨年八月から竹の台小で工事が進んでいました。住民交流施設「竹の台クラブハウス」が完成し、このほどオープンしました。

この施設は、神戸市が推進している「神戸総合型スポーツクラブ育成事業」から八百万円の助成を受けて完成したもので、施設は、教室二教室分を使い、最大で五十人程度の会議が可能。



中部屋の様子。アコーディオンカーテンを開ければ50人の会議も可能

小学校への入場は、東門(2丁目側)をご利用下さい。クラブハウスの場所は、北校舎(入門してすぐ右側校舎)1階です。

クラブハウスの運営は、「神戸総合型スポーツクラブ育成事業」の受け皿となつた、竹の台のスポーツ・文化クラブで構成する「スポーツ21竹の台クラブ」(委員長 山本寿一氏)が行います。

利用は、この施設が学校施設内にあることから、平日は、火・木曜日のみ午後四時～八時まで。土・日、祝日は、午前九時～午後八時までです。詳しくは七ページを参照下さい。

この「竹の台総合新聞」は、竹の台地区の青少年育成協議会が発意し、他の地域団体の賛同を得て、平成十七年十二月十八日(日)に

### 発行の経緯

自治会・管理組合等の参加の下に開催した、「竹の台地域情報整備準備会」の会合において、了解いただき、準備を進めてきたものです。

創刊号については、神戸市西区役所より、「まちの魅カアップ助成」を受けて発行にこぎ着けることが出来ました。

## 地域防犯に活躍

### 地域見守りグループ 始動

各地で多発している、子どもを狙った犯罪を防止するため、竹の台地区において、住民有志ら約五十名で構成する「竹の台地域見守りグループ」の結団式が、一月七日(土)、「竹の台クラブハウス」で行われました。

子どもを狙った凶悪犯罪は、一昨年の奈良県での事件、昨年暮れの広島、栃木県での事件と頻発しており、竹の台地域でも、その都度、有

志によるパトロールが行われましたが、「事件が起こってから、事後的に活動するのはなく、事前に犯罪の芽を摘んでおくことが何より重要だ」(中川有造竹の台地区防犯対策連絡会代表)の方針を受けて、年間を通して、子ども達の登下校を見守るパトロールグループの結成に至ったものです。

一月の活動実績では、一日平均十三名が登下校のパトロールに参加。子ども達にやさしく声をかけたり、世代間の交流を楽しみながら地域の安全が守られています。

竹の台地域見守りグループ世話人の寛進・竹の台地区

防災・防犯福祉コミュニティ会長は、「長丁場の活動です。から、十日に一回でも、一ヶ月に一回でも結構です。大勢の皆様参加をお願いします」と述べています。

関心のある方は、寛さん(電話991-6784)、又は同副会長の山崎さん(電話991-9829)までお問い合わせ下さい。



見守りグループの面々



パトロールだけでなく、声かけも大切な活動のひとつ